

CentreCOM® 8216FXL/SC リリースノート


この度は、CentreCOM 8216FXL/SC をご購入いただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.2.0J

2. メニューから削除された項目


ソフトウェアバージョン 2.0.0J から 2.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.1 ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)について

 参照「オペレーションマニュアル」2-22 ~ 2-25 ページ

[Administration] メニューの [Update software in another system] および [Broadcast updated software to all systems] オプションは、ネットワーク経由によるダウンロード機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。


2.2 ウェブからのソフトウェア設定について

 参照「オペレーションマニュアル」2-41 ~ 2-42 ページ

[System Configuration] メニューの [Omega Options] において、ウェブからのアクセス制限を設定する [Web-based Omega Enabled/Exclude Web-based Omega] オプションは、ウェブからのソフトウェア設定機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.3 ターミナル設定の Generic “dumb” terminal について

 参照「オペレーションマニュアル」1-14 ~ 1-15 ページ, 2-48 ページ

[System Configuration] メニューの [Terminal configuration] において、ターミナルの種類に合わせてソフトウェアを設定する [VT100-compatible/ANSI Generic “dumb” terminal] オプションはメニューから削除されました。これにより、本製品のターミナル設定はVT100-compatible/ANSI のみとなります。


3. 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 登録済みの VLAN ID を変更し、その VLAN の所属ポートを受信ポートとするスタティック MAC アドレスの登録を行った場合、VLAN 名が「Null (not configured)」となってしまう問題がありましたが、これを修正しました。
また、スタティック MAC アドレスを登録後、その所属 VLAN の VLAN ID を変更すると、スタティック MAC アドレスの VLAN 名が「Null (not configured)」となってしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.2 VLAN ID が 255 以上に設定されている VLAN の所属ポートを受信ポートとするスタティック MAC アドレスの登録を行った後、システムをリブートすると、そのスタティック MAC アドレスが削除されてしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.3 通信中のポートでケーブルの抜き差しを繰り返した場合、ケーブルを抜いてもダイナミックに登録した MAC アドレスが削除されないという問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.4 ポートランキングが設定されたポートでソース MAC アドレスがブロードキャスト値 (すべて「f」) のパケットを受信した場合、そのポートで正しく通信できなくなる問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.5 ポートランキングが設定されたポートで Ping パケットを受信中に、ランキンググループのポートに接続されているケーブルをすべて抜くと、ダイナミックに登録した MAC アドレスをスタティック MAC アドレスとして登録してしまう問題がありましたが、これを修正しました。
- 3.6 Ping テストにおいて、対象となる機器が接続されているポートのケーブルを抜き差しした後、[Ping a remote system] を実行した場合、最長で約 10 分間通信ができなくなる問題がありましたが、これを修正しました。


4. 本バージョンでの制限事項

4.1 RMON 機能について

 「オペレーションマニュアル」2-16 ~ 2-17 ページ


RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.2 マルチキャストアドレスの追加 / 削除について

 「オペレーションマニュアル」2-101 ~ 2-104 ページ

[MAC Address Table] メニューの [Multicast address] において、[Add MAC address] および [Delete MAC address] オプションを使用したマルチキャストアドレスの追加、および削除は現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.3 1000BASE-X アップリンクポートポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

4.4 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMPスヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。


4.5 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

4.6 設定変更時のご注意


システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

4.7 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ

[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。


4.8 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ


[Ethernet statistics] メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。


5. マニュアルの誤記訂正

5.1 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」 2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

 2,047 個

 254 個